

平成25年伊豆大島土砂災害
復旧・復興状況住民説明会

平成28年3月30日(水)18:00～
大島町

1

1. 復興計画策定からの復旧・復興の
取組みの概要

平成
26
年度

平成
27
年度

- ＜被災者生活再建の推進と、
発展的復興に向けた検討＞
- ・第6次基本構想、総合戦略へ復興計画を反映
 - ・災害公営住宅の建設
 - ・町道復旧事業
 - ・土砂災害対策(ソフト対策)の実施
 - ・元町地区復興まちづくり計画の推進
町道整備事業の用地取得
メモリアル公園の都市計画決定、基本設計
神達・丸塚エリアの土地利用検討 など

3

1. 復興計画策定からの復旧・復興の
取組みの概要

大島町復興計画
(平成26年9月)

平成
26
年度

- ＜生活再建支援策の強化と、
復興事業の実施に向けた準備＞
- ・災害廃棄物の処理
(H26.12.26完了)
 - ・大島町住宅再建支援補助制度の創設
大島町中小企業再建支援補助制度の創設
 - ・元町地区復興まちづくり計画策定
町道整備(用地測量や設計)
メモリアル公園整備基本計画の策定 など

2

2. 復旧・復興事業全体の進捗について

大島町復興計画
(平成26年9月)

- 復興の柱1 被災者生活再建支援
- 復興の柱2 地域基盤・インフラの復旧
- 復興の柱3 産業・観光復興支援
- 復興の柱4 防災まちづくりの強化

復興計画前期(平成26～28年度)の目標
被災者の意向を尊重し、被災者の状況に応じた
生活再建のめどが立つこと

4

復興の柱1 被災者生活再建支援

主要事業

大島町住宅再建支援補助金

災害公営住宅の建設

- ・岡田地区、元町地区に各1棟建設、入居開始

被災者生活支援連絡会による心身の見守り

- ・都・町・社会福祉協議会が情報を共有
- ・被災者の状況に応じた適切な支援につなげる

5

復興の柱3 産業・観光復興支援

主要事業

大島町中小企業再建支援補助

大島町観光プール(仮称)整備事業

- ・平成28年度夏季から運用

アジア自転車競技選手権日本大会の開催

- ・23カ国、255名の選手が参加
- ・経済効果 約6,300万円

7

復興の柱2 地域基盤・インフラの復旧

主要事業

災害廃棄物処理

- ・平成26年12月26日で完了

御神火スカイライン等道路復旧工事

- ・御神火スカイラインは平成28年秋頃に開通予定

町道の雨水排水整備

- ・緊急性、整備効果の高い箇所から道路の雨水排水施設の改修

6

復興の柱4 防災まちづくりの強化

主要事業

第三者調査委員会の設置

- ・発災前後の対応の教訓を防災対策に活かす

避難計画の策定

- ・土砂災害警戒区域等の指定を受けて見直し

避難所施設の整備

- ・野増地区、間伏地区で新たな避難所の建設
- ・土砂災害警戒区域指定を受け構造を見直し

8

第三者調査委員会からの報告を受けて

■委員会から大島町への提言

＜発災当日の対応・事前対策等について＞

- 災害対応体制に関する仕組みの整備（災害に備えた配備体制など）
- 情報収集・整理・伝達体制のあり方（夜間・休日などの体制確立など）
- 避難勧告・指示の判断・伝達方法の改善と周知
- 幅広い災害履歴の活用・伝承

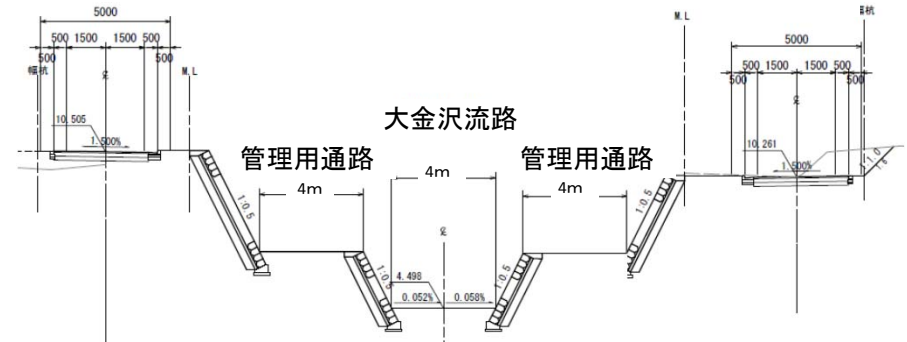
提言を真摯に受け止め、発災前後の体制整備や避難体制等について検討し防災対策に反映

今後、予防対策や発災後の救助支援期の検証も行い、防災対策に反映

大金沢流路沿川町道新設整備 断面イメージ図

右岸町道

左岸町道



3. 元町地区復興まちづくり計画
(1) 大金沢流域隣接等町道整備事業

大金沢流路沿川町道新設整備
(平成26年度設計、平成27年度～用地買収)

歩行者専用道路新設整備
(平成26年度設計)



木伐大道改良整備
(平成27年度設計)

メモリアル公園
(平成27年度基本設計及び都市計画決定)

大金沢流路沿川町道イメージ

歩行者専用道路イメージ



- 平成27年度 用地取得に着手
- 平成28年度～ 大金沢流路改修にあわせて着工

3. 元町地区復興まちづくり計画 (2)メモリアル公園整備事業

- 平成27年度 基本設計実施
- 4回のワークショップで公園の計画を検討
- 平成28年2月5日 都市計画決定



公園検討ワークショップ(元町地区復興まちづくり連絡会分科会)の様子

1 3

4. 元町地区復興まちづくり土地利用計画

- ◆元町地区復興まちづくり土地利用検討部会の設置(平成27年9月)
 - 被災地域のうち、メモリアル公園区域外の「神達・丸塚エリア」の土地利用について様々な視点から検討
 - 発展的な復興拠点となる土地利用計画の検討



- 平成27年度
 - 元町地区復興まちづくり土地利用計画をとりまとめ

1 5



- 平成28年度
事業認可取得
実施設計・用地取得
- 平成29年度
用地取得・整備工事
- 平成33年度
開園予定

1 4

■被災地域の安全性の確保

ハード対策(東京都)

- ①応急対策
 - ②短期対策
 - ③中長期対策
 - ④既設流路の改修
- 100年超過確率規模の降雨に対応可能

ソフト対策(都・町)

- ①土砂災害防止法に基づく基礎調査の実施、警戒区域等の指定(都)
- ②警戒避難体制の整備(大島町)



- 神達・丸塚一帯の安全性
- ハード対策の進捗により土砂災害特別警戒区域は解除される見込み

1 6

■神達・丸塚エリア(公園区域外)の土地利用の方向性

上位関連計画

- ・都市計画マスタープラン
- ・大島町復興計画
- ・町長の優先する3つの取組
- ・大島町まち・ひと・しごと創生総合戦略

立地特性

- ・岡田港～波浮港のラインと元町港～三原山のラインが交差
- ・商業地、住宅地に近接
- ・町道整備によりアクセス性が向上

メモリアル公園の基本機能

- ・防災教育機能
- ・地域振興機能
- ・環境・景観形成機能
- ・レクリエーション機能

町民や観光客、子どもからお年寄りまで、人々が集い、交流する場として利用

17

■神達・丸塚エリア(公園区域外)の土地利用の方向性



産業振興ゾーン

「観光を中心とした地域振興の拠点」

- ◆**地域振興エリア**
 - ジオパークビジターセンター、資料館、物産館、飲食店等を民間の企業も含めて検討
- ◆**宿泊エリア**
 - 民間宿泊施設の活用を推進

文教・福祉ゾーン

「子どももお年寄りも安心して暮らせる生活環境の場所」

- 新大島町立図書館の建設
- 元町保育園の整備
- 子どもたちの放課後の居場所
- 生涯学習
- 島内外の交流・ふれあいの場

「大島の再生」事業として整備基本計画を策定予定

18